

中国企業	分野	詳細
中国建材集団	エネルギー	2011年6月27日、中国建材集団はウクライナのリコエネルギーグループと戦略的枠組み協力協定を締結。太陽光発電、風力発電、新型建材などの分野で、協力深化に合意。同年10月12日には、両社は太陽光発電ステーションプロジェクトの協力に関する契約を締結。
中糧国際（COFCO International）	農業	2016年5月19日、中糧国際（中糧集団の完全子会社）が7,500万ドルでウクライナに建設したターミナル港が正式に稼働。中糧集団によると、中国にとって、本プロジェクトは、ウクライナのロジスティクス開発分野における最大規模の投資。 ターミナル港は、中糧国際が完全所有・運営するマイクロライウ港にある。輸出品目はトウモロコシ。ターミナルの総処理能力は年間250万トン、貯蔵容量は14万3,000トン。2つの穀物エレベーター、120トン貯蔵できる16個のサイロ、1,500トン貯蔵できる4個のサイロを具備。 また、マリウポリにはヒマワリ油の採油工場を有する。当該工場の一部設備がロシアによる侵攻で被害を受けたとも報じられている（本文参照）。
中鉄国際集団 太平洋建設集団（CPCG）	インフラ	2017年5月14日、中鉄国際集団および太平洋建設集団は、キーウ市と地下鉄4号線プロジェクトに関する覚書を締結した。2018年9月14日、杜偉駐ウクライナ中国大使（当時）は、中鉄国際集団の甘百先董事長（当時）と会見した際、当該プロジェクトは、両国の実務協力分野最大のプロジェクトの1つと発言。
江蘇セラフィム太陽光発電システム 中国機械設備工程（CMEC）	エネルギー	2018年6月15日、江蘇セラフィム太陽光発電システム（以下、セラフィム）は、ウクライナ最大の太陽光発電所プロジェクトに246メガワットの太陽光発電モジュールを提供すると発表。 当該太陽光発電所は、ウクライナ中部のドニプロペトロウシク地域に所在。計画容量は246メガワットで、全てセラフィムの製品を使用。中国機械設備工程（CMEC）が建設を請け負った。2019年4月19日に完成、既に発電を開始。建設に要した経費は2億1,600万ユーロ。そのうち60%が中国から出資された。プロジェクト完了後は、10万人の電力需要に対応でき、年間30万トンの二酸化炭素排出量の削減が見込まれるという。
中国東方電気集団	エネルギー	2018年12月20日、中国東方電気集団とウクライナのドンバスエネルギーとのスラビャンスク6号機プロジェクトの調印式が開催。出席した杜偉駐ウクライナ中国大使（当時）は「当該プロジェクトは中国企業が公開入札を通じウクライナで獲得した最初の大型石炭火力発電プロジェクト」と紹介。
江蘇省農墾農業発展	農業	穀物の栽培、種子の生産、穀物などの食品加工を行っている江蘇省農墾農業発展は2019年10月17日、ウクライナで農作物の生産を行っているPROMIN-12の株式の51%を取得したと発表。
中国能源建設集団国際工程	エネルギー	2019年3月25日、中国能源建設集団国際工程は、英国のCindrigo社とウクライナの1,000TPD（注1）廃棄物発電所プロジェクトに関するEPC契約に署名。ウクライナのキーウ州にあるピラ・ツェルクバに、1日当たり1,000トンの都市固形廃棄物を処理できる20メガワットの設備容量を持つ焼却発電所を建設する予定。プロジェクトでは、2つの焼却炉、2つの廃熱ボイラー、1台のタービン発電機を設置する。
東方日昇新能源股份	エネルギー	2019年、東方日昇新能源は、ウクライナ最大の民間エネルギーグループDTEKと共同開発したボクロフスカ323メガワット太陽光発電プロジェクトが成功したことを発表した。これは、当時ウクライナで最大の発電所プロジェクトで、欧州で2番目に大きい太陽光発電所プロジェクトだった。プロジェクトには東方日昇新能源の72ピース370ワット高効率PERC単結晶モジュールだけが使用されている。プロジェクトの完了後は、10万人の電力需要に対応でき、年間30万トン以上の二酸化炭素排出量の削減が見込まれる。 なお、ロシアのウクライナ侵攻により、太陽光発電に使うモジュールのウクライナへの供給が停止しているため、供給先を他の国に変更する。
龍源電力	エネルギー	2019年8月、龍源電力はウクライナ南西部オデッサ州のユジニイ風力発電プロジェクトに投資。総投資額は9億2,000万元。設備容量は76.5メガワットで、ドイツの風力発電メーカーNORDEXの4.5メガワットの風力タービン17基を使用し発電。当該プロジェクトは、龍源電力が欧州で投資した最初の案件で、海外で最大規模の単一風力発電プロジェクト。
中国電力建設集団	エネルギー	2020年10月30日、中国電力建設集団はウクライナ企業のWindfarmと、風力発電所建設プロジェクトの共同実施に関するEPC契約を締結した。風力発電所はドネツク州のマンガシュとニコルスkey地区に建設予定。発電規模は800メガワット。Windfarmは、当該プロジェクトの規模は10億ドルを超え、ウクライナで最大の風力エネルギープロジェクトと説明した。 一方、中国電力建設集団は報道で、「この契約はウクライナではまだ実施されてなく、資本も注入されていない。そのため、（ロシアとの戦闘に伴う）影響は非常に小さい」旨、発言（中国紙「毎日経済新聞」）
中国能源建設集団国際工程 広東省電力設計研究院	エネルギー	2020年3月11日、中国能源建設集団国際工程と広東省電力設計研究院は、ウクライナ企業のカルサとカルサ1,500TPD廃棄物発電所プロジェクトのEPC契約（注2）に署名した。キーウ州に、約40メガワットの発電所容量を持つ2つの750 TPD廃棄物焼却発電所を建設する予定。契約内容は、廃棄物発電所建設・設計・調達・建設・運営・維持管理など。契約額は約2億3,800万ドルで、建設期間は36カ月。
渤海商品交易所	その他	2020年3月12日、ウクライナ証券規制委員会は、渤海商品交易所（BOCE）傘下の企業がウクライナ第一証券取引所（PFTS）の株式の49.9%を取得したと発表した。買収契約は2017年12月に署名され、2018年12月、ウクライナ独占禁止委員会によって審査が行われるなど、株式の取得に2年以上を要した。
正信光電	エネルギー	2020年8月、正信光電は、ウクライナのナフトガスがジトミル地域に持つ「CHUDNIV」太陽光発電所に、33.28メガワットの太陽光発電モジュールを提供した。太陽光発電所には、正信光電の7万3,913個の高効率9BB単結晶PERCソーラーモジュールが設置された。当該発電所は2020年11月に稼働、推定年間発電容量は90ギガワット。
新疆金風科技股份	エネルギー	2021年9月、新疆金風科技は、ソフィアの337.5メガワット風力発電建設プロジェクトとオチャコフの288メガワット風力発電建設プロジェクトに署名した。両プロジェクト完了予定は2022年末。年間発電容量は2.2テラワットで、110万世帯以上に電力を供給でき、二酸化炭素排出量を170万トン削減できるようになる見通し。これによりウクライナでの金風科技の市場シェアは20%を超えることになる。
華為技術（Huawei）	通信	2000年からウクライナで事業を開始、2005年5月に華為ウクライナを設立。2018年からはウクライナの4Gネットワーク開通に伴い、4Gプロバイダー設備を供給している。研究開発（R&D）センターも設置済み。

注1：トン/日。1日あたりに処理できる量を指す。

注2：EPC契約とは、設計（Engineering）、調達（Procurement）、建設（Construction）を含む建設プロジェクトの工事請負契約。

出所：各社プレスリリース、報道などを基にジェトロ作成